

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 熊本県 (都道府県: 熊本県)
本事業の担当部局名 健康福祉部子ども・障がい福祉局子ども未来課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり_機運醸成事業			
区分	重点メニュー			
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する機運の醸成			
個別事業名	「こどもまんなか熊本」推進事業		新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日	～	令和7年3月31日	事業開始年度 令和 3 年度
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け (注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) 全事業共通 熊本県においては、「第2期熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策「子どもを安心して産み、育てられる環境整備」において、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援の充実を図る施策を行っている。 具体的には、それぞれのライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組む市町村を後押しするため、県単独の交付金事業を実施するとともに、県においては、平成29年(2017年)8月、知事が先頭に立って、職員や社員の仕事と生活の充実を応援する「よかボス宣言」を行い、県全体に「よかボス」を増やして、結婚や子育てがしやすい熊本県を目指すため、様々な機会を捉えて多くの企業等に働きかけを行い、「よかボス」の企業・団体の数は1,030社(R5.12月時点)、「よかボス企業」のある市町村数は42市町村/45市町村にまで広がりを見せている状況。 しかし、令和4年の県内婚姻数は6,349件、出生数は11,875人と、経年的に低下傾向にある。同傾向については、若い世代が結婚に対する経済的不安を抱えていること、理想的な結婚相手との出会いの場が少ないこと、将来のライフプラン等について考える情報が不足していること、子育てに対する負担感などが主な原因であると分析している。			
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) < 当年度の少子化対策の全体像 > 全事業共通 過年度に引き続き、行政・企業等の連携した取組みによって、若い世代が結婚・子育てをしながら安心して仕事を続けられるくまものすがたを「くまもスタイル」と称し、「よかボス」の取組みを軸として、結婚や子育てを社会全体で応援するくまもを目指す。 < 本個別事業の位置付け > 若い世代の結婚に対する経済的不安及び子育てに対する負担感などを軽減するために、「こどもまんなか熊本」の実現に向け、社会全体で結婚・子育てを応援する機運醸成を図る情報発信、子育て世帯を応援する子育て応援の店の情報発信及び子連れ世帯の外出・移動支援の取組みとして実施するもの。			
	(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) ・「子育て応援タクシー」について、新型コロナの5類移行及びインバウンド回復による需要増や運転手不足等、タクシー業界を取り巻く環境の変化により、通常のタクシー乗務を優先するため認定講習会の参加者が激減している。一方で、妊産婦を中心に県民の子育て応援タクシーのニーズは高く、タクシー会社が運転手不足等により対応できない場合、認定制度を行っている県に苦情が寄せられる状況。 そのため、従来の参集型講習会ではなく、タクシー会社への出張型講習会を取り入れるとともに、妊産婦や乳幼児対応に関する注意点をまとめた簡易パンフレットを県下全域のタクシー会社に配付し、講習会参加者に緊急対応キット(タクシー内での妊婦の破水に対応する防水シート、手袋、タオル等)を配付することにより、認定講習会への参加を呼びかけ、対応可能な運転手の数を増やす。 ・「子育て応援の店」について、平成18年度に事業開始しているが、平成28年熊本地震、令和2年豪雨災害、新型コロナ等により廃止届出をせずに廃業している店舗も多く、登録店舗一覧には掲載されているが実在しないものも多い状況。また、どのエリアにどのような店舗があるのか一目で分かるものがない。 そのため、現登録店舗を調査し、乳幼児連れのサービスを提供する店舗を「赤ちゃんの駅」として整理するとともに、グーグルマップ上で店舗位置を一斉表示するマイマップを作成することにより、子連れ世帯の外出支援を強化する。			

個別事業の内容 (注)3	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
	1	「こどもまんなか熊本」機運醸成	[R6新規事業] ・「こどもまんなか熊本」の意識啓発のため、「こどもまんなか熊本」ロゴマークを適宜活用し、県民向けにSNS広告等を活用して広報周知を行い、こどもや子育て世帯を社会全体で支える機運の醸成を図る。幅広い世代への訴求として、テレビCM、公共交通機関を活用した広報(デジタルサイネージ、市電窓吊りポスター等)を実施。 ・上記広報と併せ、結婚や子育てを応援する機運醸成のためのイベントを実施する。イベント内でまりっくまパスポートや聞きなっせAI、子育て応援の店に関する内容を盛り込み、事業の更なる周知を図る。		○
	2	子育て応援タクシー	・妊産婦や乳幼児への対応について知識を習得した運転手を子育て応援タクシーとして認定する講習会を、タクシー会社に出張して4回実施する。 ・インセンティブとして、講習会参加者に緊急対応キット(タクシー内での妊婦の破水に対応する防水シート、手袋、タオル等)を配付することにより、認定講習会への参加を呼びかける。	○	○
	3	まりっくまパスポート	・結婚1年以内の新婚カップル、今後結婚を予定するカップルを対象に「まりっくまパスポート(結婚応援パスポート)」を交付し、当該パスポート利用者に対し、料金割引などの特典やサービスを提供する「結婚応援の店」を登録する。 ・利用者向けチラシ及び店舗向けチラシを作成し、市町村窓口における婚姻届提出時や市町村主催の婚活イベント等でチラシを配布するとともに、新婚カップルや結婚予定カップルを対象とした広報(SNS広告)を実施することで、対象者を網羅した周知徹底を図る。 ・「グーグルマップ」上で店舗位置を一斉表示するマイマップを作成することにより、利用者の利便性向上及び登録店舗発掘を図る。	○	
	4	赤ちゃんの駅・子育て応援の店の深化・広報周知	・子育て応援の店の登録店舗の実態調査を行うとともに、 <u>オムツ替えや授乳スペースを提供する店舗を「赤ちゃんの駅」として整理する。</u> ・ <u>「くまもとデータ連携基盤」上で店舗位置を一斉表示するマップを作成することにより、利用者の利便性向上及び登録店舗発掘を図る。</u> ・市町村やよかボス企業等が行う子育てイベント情報を県ホームページ、子育て支援LINE「聞きなっせAIくまもと」で発信する。 ・子育て応援の店を所在地の位置情報から検索できる子育て支援LINE「聞きなっせAIくまもと」の周知広報のため、チラシを作成し、保育所等に配付するとともに、SNS広告を行う。	○	
【次年度以降に向けた事業の方向性】 「こどもまんなか熊本」のワード及びその目指す姿について県民に浸透させ、社会全体の意識改革を図るとともに、県民・事業者双方への標記取組の理解促進を図る。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)4 全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	結婚支援に取り組む市町村数		市町村	45 (令和6年度)	35 (令和5年度)
	「よかボス企業」登録数		団体	1080 (令和6年度)	1030(R6.1.1時点)
	市町村長の「よかボス宣言」者数		人	34(令和6年度)	22(R6.1.1時点)
	「聞きなっせAIくまもと」友達登録者数		人	16000(令和6年度)	13794(R6.1.1時点)
	「結婚応援の店」登録数		店舗	400(令和6年度)	312(R6.1.1時点)
	「子育て応援の店」登録数		店舗	2700(令和6年度)	2648(R6.1.1時点)
参考指標 (注)5 全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.52 (令和4年)	
	婚姻件数		件	6349 (令和4年)	
	婚姻率			3.7 (令和4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 (注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	機運醸成イベント参加者	人	200	-
	2	認定ドライバー数	人	150	31(R6.3時点)
	3	「まりっくまパスポート」登録者数	人	5000	1152(R6.3時点)
	4				
	(アウトカム)				
	1	「こどもまんなか熊本」の実現を進めるべきと考える人の割合	%	70	-
	2	「結婚応援の店」を利用して良かったと回答した者の割合(満足度)	%	80	75 (R6.3時点)
	3	「子育て応援タクシー」を利用して良かったと回答した者の割合(満足度)	%	80	75 (R6.3時点)
	4	「子育て応援の店」を利用して良かったと回答した者の割合(満足度)	%	75	-
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)7	婚姻届や妊娠届の提出時等において、市町村窓口にてまりっくまパスポートや聞きなっせAIのチラシを併せて紹介し、事業周知を連携して行う。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 (注)8	タクシー事業者を含めた交通事業者との連携、地域の子育て団体等と意見交換を踏まえながら、より子育てしやすい環境づくりができるよう進める。 「結婚応援の店」登録促進にあっては、「よかボス企業」や子育て応援の店など、幅広い業種に対して周知を行うとともに、「よかボス倶楽部」で本事業を充実させていくための手法について、検討していく。				